

令和元年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立藤枝特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立藤枝特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部

1. 使用状況

寄贈物品名	ソフト跳び箱
使用学年及び人数	小学部1～6年知的学級 111人
使用頻度	各学年 年間15h～20h
使用状況	体育の「器械運動」の題材で主に使用している。 「器械運動」では、跳び箱を跳ぶことが難しい児童に対して、両手をついて体を支える動きやまたがって前に進む動きを練習する。
物品の使用による変化や効果	従来の木製のものに比べ、カラフルで感触が柔らかいので、児童が抵抗なく触ることができる。手をつく位置が色で示されているので児童にとって分かりやすい。 木製のものに比べて軽く持ち運びがしやすいので、準備や片付けが安易にできる。
今後の活用の見通しや課題	これまでと同様、体育の教材として活用していきたい。
その他 希望や所感など	

2. 活用の様子

小学部3年体育の授業の様子



手を置く場所を色で伝えながら支援している。

